

男女共同参画センター／女性センターの  
政治分野における男女共同参画の推進に係る事業  
アンケート調査報告書

特定非営利活動法人 全国女性会館協議会

2018年3月

## 1 調査の趣旨について

日本では、政治分野におけるジェンダー格差が極めて大きいことは、よく知られている通りです。世界経済フォーラムが毎年発表しているGGI（ジェンダー・ギャップ指数）について見てみると、本調査企画時に発表されていたデータでは、日本は144か国中111位で、政治分野については103位であり、経済分野の118位に次ぐ低さでした。<sup>1</sup>

日本においてジェンダー平等を実現していくためには、政治分野における男女共同参画の推進が欠かせない状況にあることから、全国女性会館協議会では、毎年行っている会員館の「現況調査」の実施と合わせて、「男女共同参画センター／女性センターの政治分野における男女共同参画の推進に係る事業に関するアンケート調査」を実施したものです。

## 2 調査の概要

- |           |                                |
|-----------|--------------------------------|
| (1) 調査方法  | メールに質問紙を添付し、記入の上、返信を求めたアンケート調査 |
| (2) 調査時期  | 2017年10月                       |
| (3) 調査対象  | 全国女性会館協議会の会員館 <sup>2</sup>     |
| (4) 回答施設数 | 79施設 <sup>3</sup>              |
| (5) 回収率   | 91.9%                          |

---

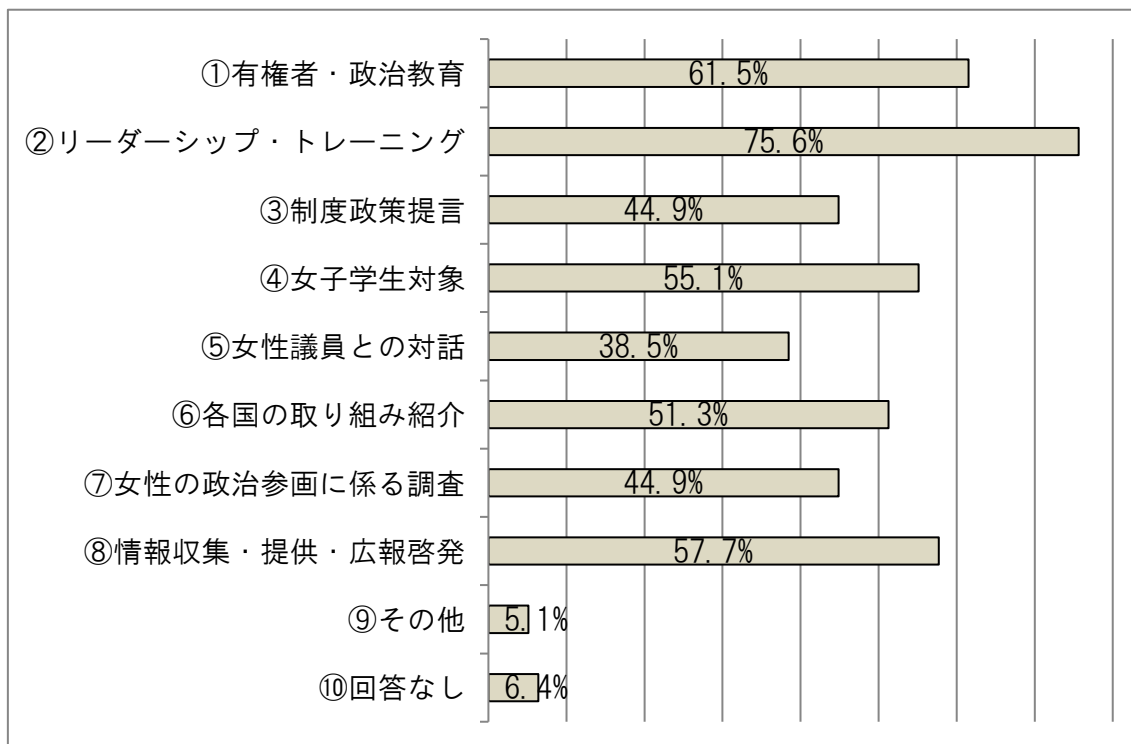
<sup>1</sup> 2018年2月現在のGGI最新値は144か国中114位。政治分野については123位。

<sup>2</sup> 調査時点で86施設

<sup>3</sup> 仙台市男女共同参画推進センターについては、「エル・ソーラ仙台」と「エル・パーク仙台」の2施設から1件の回答が提出された。そのため、百分率を計算する際には、回答母数は78としている。

### 3 調査結果

【設問1】 政治分野における男女共同参画を推進するために、必要と思う取組について お聞きします。あてはまる項目すべてをチェックしてください（複数回答可）。n=78



回答でもっとも多かったのは「リーダーシップ・トレーニング」で75.6%と7割以上が必要と思うと答えた。次いで、「有権者・政治教育」で61.5%、「情報収集・提供・広報啓発」が57.7%の順だった。

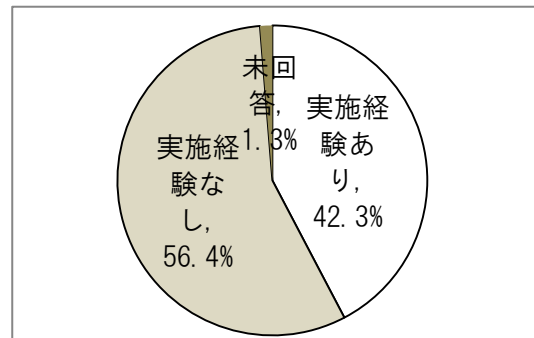
「その他」として記載があったのは、次の通りである。

- ・男女両方を対象とした幼少期からの有権者教育。
- ・女性の地位向上や女性のリーダーシップに関する意識啓発のための学習機会の提供。
- ・若年層対象では、（従来の性別役割に捉われてしまうことがないように）男子学生・男子高校生向けの有権者教育も必要。

【設問2】 事業の実施状況についてお聞きします。

【設問2（1）】

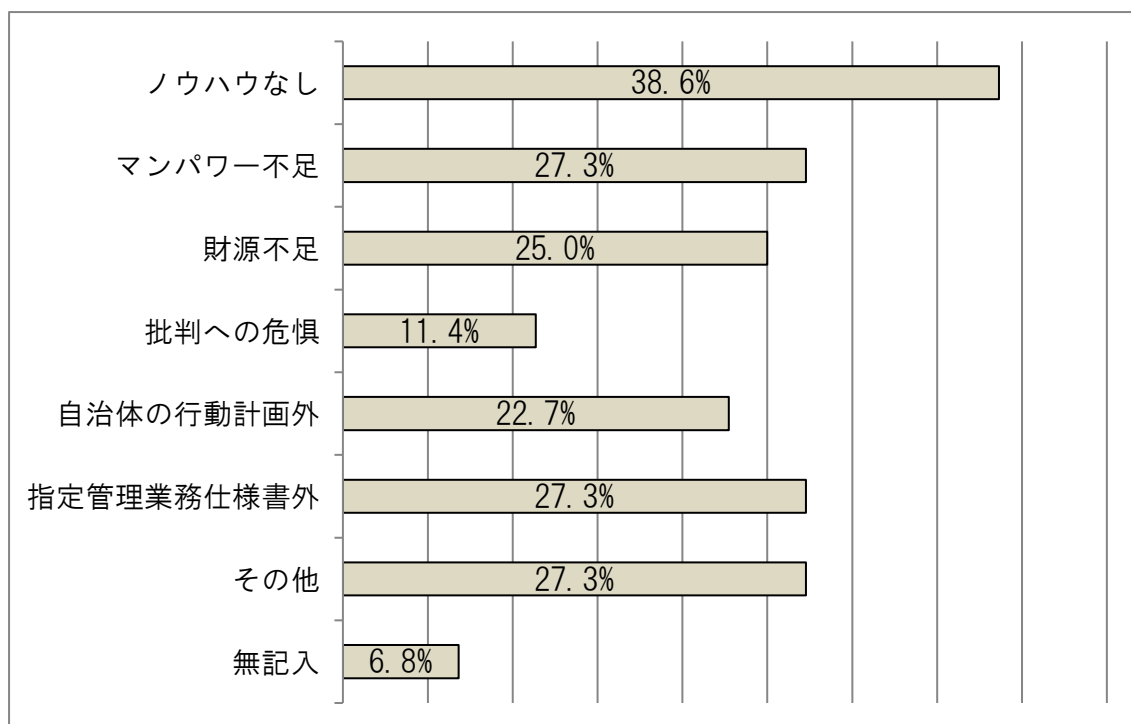
貴センターでは、政治分野における男女共同参画を推進するために役立つと思われる事業（以下、「当該事業」）を実施したことがありますか。あてはまる項目をチェックしてください（回答は1つ）。n=78



当該事業の実施経験ありとの回答が42.3%、実施経験なしとの回答が56.4%だった。

【設問2（2）】

実施していない理由について、あてはまる項目すべてをチェックしてください（複数回答可）。n=44



実施していない理由としては「ノウハウなし」が38.6%と最も多く4割近く、次いで「マンパワー不足」「指定管理業務仕様書外」「その他」がいずれも27.3%と3割近く、「財源不足」が25.0%の順だった。「批判への危惧」との回答も11.4%と1割程度あった。

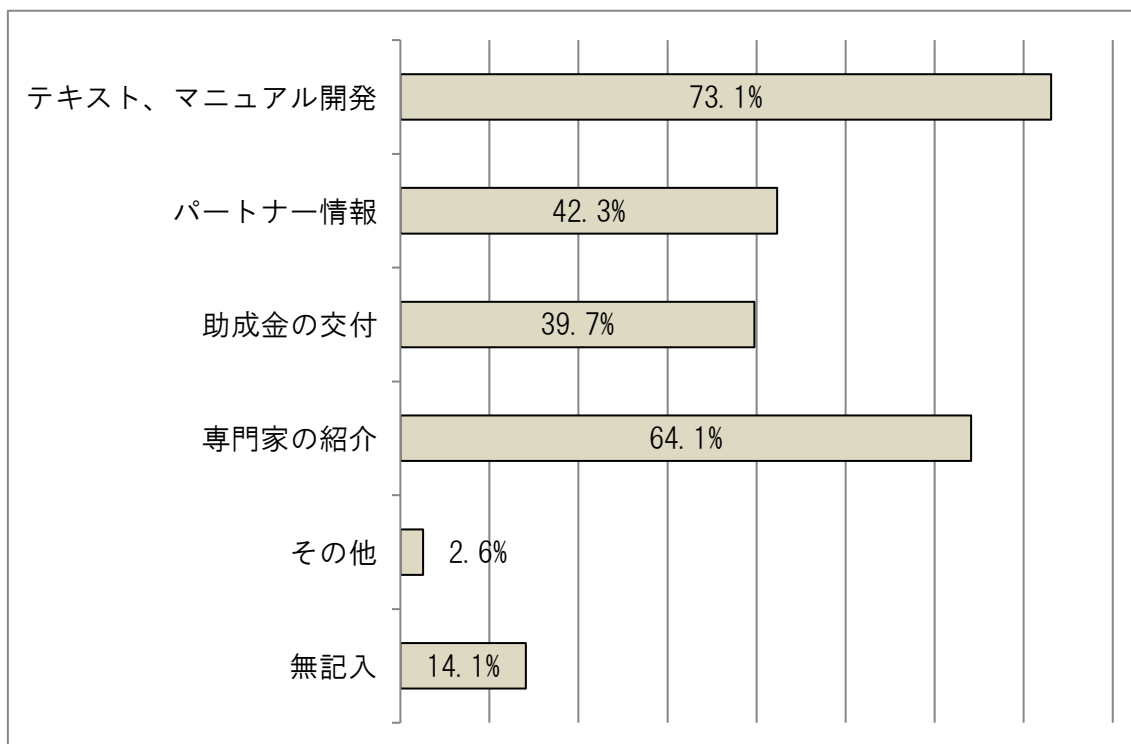
【設問2（3）】

貴センターで実施された当該事業の概要について記載ください。

(回答はP 6～P 26 に掲載)

【設問3】 当該事業を実施する上で役立つと思う事柄についてお聞きします。あてはまる項目すべてをチェックしてください(複数回答可)。

現在、当該事業を実施していない場合でも、今後、実施するとしたら役立つと思う事柄を教えてください。n=78



当該事業を実施する上で役に立つと思う事柄については、もっとも多かったのが「テキスト、マニュアル開発」で73.1%、次いで「専門家の紹介」が64.1%、「パートナー情報」が42.3%、「助成金の交付」が39.7%の順だった。

#### 4 まとめ

(1) 必要性は認識されているが、実施にはハードルが存在

政治分野における男女共同参画を推進するための事業として必要であるとする回答が多かったのは、リーダーシップ・トレーニングで75.6%、次いで有権者・政治教育で61.5%だった。当該事業の実施状況については、政治分野における男女共同参画を推進するための事業を実施しているという回答は42.3%で、半数に届かなかった。実施していない理由としては、ノウハウやマンパワー、財源の不足のほか、指定管理業務仕様書外、自治体の行動計画外であるなどがあげられていた。当該事業を実施することへの批判への危惧も、実施していない理由としてあげられていた。当該事業を実施するために役立つ事柄としては、テキストやマニュアル、専門家の紹介を求める声が多かった。当該事業の実施例としては、33件(うち7件は公表不可)の回答があった。

今回の調査結果からは、当該事業を実施する必要性は多くのセンターが認識していて、積極的に取り組むセンターも少なくない一方、指定管理で実施すべき事業として位置づけられていなかったり、そもそも自治体の行動計画に政治分野における男女共同参画の推進が掲げられていないなど、取り組むことが難しい事情が伺えた。

## (2) 事業例から読み取れるもの

政策・方針決定過程への参画、地方議会、政治参画、女性参政権、選挙などのキーワードを事業のタイトルやサブタイトルに用いて、政治分野への男女共同参画をダイレクトにテーマとする事業や、やや幅広く目的を設定した事業として、女性リーダー養成や同意形成を取り上げた事業などが実施されていた。

大規模な災害を経験した地域のセンターでは、被災経験から女性が地域でリーダーシップを発揮できるようになる必要性から開発された事業や、復興やさらなる防災に女性の切実な声を届けるために企画された事業が実施されていた。

事業の実績として、受講者から地方議員や審議会等の委員を輩出しているセンターもあった。

事業の形態としては、講座・セミナー型の事業が多かったが、女性参政権をテーマにしたライブラリ所蔵資料の展示や、広報紙やデータブックでこのテーマを取り上げるなど、情報事業や広報事業として展開しているセンターもあった。

また、男女共同参画の視点から地域課題を解決していくために、地方議員と地域の団体が意見交換を行う場を設定したり、各会派の女性議員（国会議員、地方議員）をスピーカーとして招いた講座・セミナー等を実施するなどの例も9事例あった（うち、2事例はセンターを運営する団体の事業として実施）。議員を招くことについては、全会派に対して働きかけるなど政治的な中立性について配慮が必要とされる。

事業の課題としては、修了後にいかに実践につなげるか、受講生同士のネットワークづくり、若年層への働きかけ、直接的に政治参画を取り上げると集客が難しいなどがあげられた。

回答があった事例は、今後、他のセンターでの事業展開に参考になると考えられる。

問2（3）への回答（各センターでの事業例。センターの立地で北から順に掲載）

No. 1

センター名	札幌市男女共同参画センター
事業名	男女共同参画ワークショップ研修会
対象者	札幌市男女共同参画センター職員、「男女共同参画ワークショップ事業」参加者
実施時期	平成29年3月16日（木）18：30～20：30
事業内容	<p>パートナー間における“同意”のあり方について考えるワークショップを通して、ジェンダーの視点の気づきやアクションを促すワークショップの手法とファシリテーターに必要なスキルを学びます。</p> <p>（1）「自分たちの手で社会を変える手法とは？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・オーガナイズングとは？</li> <li>・ファシリテーターに求められる役割</li> </ul> <p>（2）『同意ワークショップ』をファシリテートする」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの背景</li> <li>・同意とは何か？を考える</li> <li>・日本と海外における「同意」の扱い方考える</li> <li>・同意の「実践」について考える</li> </ul>
定員	なし
参加費	無料
協働先について	なし
実績	-
直接事業経費	126,671円
財源	指定管理事業費
参考にしたプログラム等	-
課題	-

## No. 2

センター名	岩手県男女共同参画センター
事業名	男女共同参画サポーター養成講座第3回 「政策・方針決定過程への女性の参画」
対象者	サポーター養成講座受講生及び県民一般
実施時期	2017/7/3
事業内容	「政策・方針決定過程への女性の参画」 政策・方針決定過程における女性の参画について、現状と課題を学習します。 【コーディネーター】 立教大学社会学部/大学院 21 世紀社会デザイン研究科 教授 萩原なつ子さん 【パネリスト】 北上市議会 議員 小原享子さん 岩手県漁協女性部連絡協議会 会長 盛合敏子さん
定員	-
参加費	資料代 100 円（公開講座の場合）
協働先について	
実績	参加者 42 名
直接事業経費	-
財源	-
参考にしたプログラム等	-
課題	-



センター名	仙台市男女共同参画推進センター エル・パーク仙台
事業名	女性と防災まちづくり 決める・動く 2017
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会やPTA、社会学級など地域で活動している女性</li> <li>・ NPO法人や市民グループ、ボランティア団体等に所属し、活動している女性</li> <li>・ 地域などでこれから活動を始めたいと考えている女性</li> </ul>
実施時期	2017年6月1日～12月14日
事業内容	女性が地域でリーダーシップを発揮できるよう、自身の力を引き出す研修事業。「分かる」を「できる」に変える実践的なプログラム、及び参加者同士のネットワーク形成によって、参加者が自身のリーダーシップを見出し、それぞれのフィールドでさらに活躍できるよう支援する。全9回のプログラム（1泊2日の宿泊研修含む）。
定員	20名
参加費	20,000円（参考図書・宿泊費含む）
協働先について	-
実績	2016年度 参加者26名
直接事業経費	1,566,000（2016年度実績）
財源	仙台市「女性と防災まちづくり活動支援事業」負担金
参考にしたプログラム等	仙台女性リーダートレーニングプログラム （当財団で先行して実施している、企業の女性管理職養成講座）
課題	プログラム修了後も、受講生がリーダーシップを発揮し、まちづくりセクターの人たちにその力を認識してもらうための仕掛けづくり

## No. 4

センター名	秋田県中央男女共同参画センター
事業名	市川房枝記念会女性と政治センターとの共催事業 「女性を地方議会へ in 東北2015」
対象者	一般県民他東北各地から参加者あり
実施時期	2015年11月7日～8日
事業内容	クロストーク：女性が地方政治を変える 講演：地方創生を考える。かけがえのない多様な生活を営む場所としての「地域」の再生と女性の役割 選挙運動のノウハウ 女性を議会へ送り出す活動に取り組んで リレートーク：女性の視点は必要？議会でこころがけていること
定員	100名
参加費	現職議員 5,000円 一般 500円
協働先について	東北の女性団体（複数）
実績	約100名の参加で大盛況
直接事業経費	-
財源	市川房枝記念会で負担
参考にしたプログラム等	-
課題	-

## No. 5

センター名	福島県男女共生センター
事業名	未来塾
対象者	連続講座：女性 公開講座：性別不問
実施時期	平成21年10月～11月
事業内容	行政・議会、財政、計画など基本的な事項や公的な意思決定について学び、地域の意思決定課程における女性の参画を支援する講座。女性限定の連続講座及び性別不問の女性議員を招いた公開講座を開講。【別紙添付資料あり】
定員	連続講座：30名 公開講座：60名
参加費	無料
協働先について	福島県女性団体連絡協議会
実績	連続講座：21名、他聴講者 公開講座：86名
直接事業経費	-
財源	-
参考にしたプログラム等	-
課題	-

センター名	埼玉県男女共同参画推進センター
事業名	女性リーダー養成講座
対象者	地域活動・社会活動に参画する女性で、全4回参加できる人
実施時期	①2017.10.14 ②11.11 ③12.09 ④2018.02.03
事業内容	<p>【第1回】講義：男女共同参画の視点に立った地域リーダーとは ワークショップ：テーマによるグループ作成。グループ毎に現状把握、基本認識の合成</p> <p>【第2回】講義&amp;トークセッション：実践者に学ぶ。女性リーダーに必要な視点とは ワークショップ：課題解決に向けて、自分たちに何ができるか、何をしなくてはいけないのか</p> <p>【第3回】講義&amp;トークセッション：よりアクティブな社会参画を進めるには ワークショップ：課題解決のための具体的なアクションと、その効果的なアウトプットの方法</p> <p>【第4回】With You さいたまフェスティバルで成果発表を公開講座として開催</p>
定員	30名
参加費	無料
協働先について	なし
実績	H28年度から同名の講座を実施。(H27年度は、女性のための政策セミナー(全3回)を実施)
直接事業経費	207千円
財源	一般財源
参考にしたプログラム等	なし
課題	学びにとどめることなく、いかに実践につなげるか。

## No. 7

センター名	千葉県男女共同参画センター
事業名	平成27年度男女共同参画講座〈全3回〉 「女性の人権と政治参画～グローバルな視点で考える」
対象者	千葉市民
実施時期	平成28年2月6日（土）、3月5日（土）、3月12日（土）
事業内容	女性差別撤廃条約の果たしてきた役割と最近の動向、クオータ制などをテーマとして、女性の人権と政治参画に関わる諸問題についてグローバルな視点で学ぶことを目的に実施した。 第1回 テーマ：一人の日本人女性から見た国連の過去・現在・未来 講師：根本かおるさん（国連広報センター所長） 第2回 テーマ：女性差別撤廃条約の果たしてきた役割と最近の動向 講師：浅倉むつ子さん（早稲田大学大学院教授） 第3回 テーマ：世界の女性議員はなぜ増えたのか（クオータ制） 講師：三浦まりさん（上智大学法学部教授）
定員	第1回／定員100名 第2・3回／定員各50名
参加費	無料
協働先について	第1回目の講座開催にあたり国連広報センターの協力をいただいた。
実績	応募者数108名（全3回） 受講者数73名（全3回）
直接事業経費	7万3千円
財源	市からの指定管理委託料の予算内で実施。
参考にしたプログラム等	特になし。
課題	-

## No. 8

センター名	日本女性学習財団
事業名	『月刊ウィラーン』発行
対象者	男女共同参画に関心のある方および市民
実施時期	2016年6月
事業内容	特集テーマを「議会は女性にひらかれているか？」とした。 目次については、以下参照 <a href="http://www.jawe2011.jp/welearn-publish/319">http://www.jawe2011.jp/welearn-publish/319</a>
定員	
参加費	
協働先について	
実績	
直接事業経費	
財源	
参考にしたプログラム等	
課題	

## No. 9

センター名	港区立男女平等参画センター
事業名	4.10 女性参政権記念イベント 世界がパリテ・男女均等になったら
対象者	このテーマに関心のある方
実施時期	平成29年4月10日(月)
事業内容	【第1部】女性議員からGIRLSへ、いま伝えたいこと 野田聖子さん(衆議院議員)、山尾しおりさん(衆議院議員) 池内さおりさん(衆議院議員) 【第2部】WOMEN'S MARCHの時代がやってきた！ 鎌田華乃子さん(コミュニティ・オーガナイズング・ジャパン代表)、諏訪原健さん(ReDEMOS/筑波大学大学院生)、濱田すみれさん(アジア女性資料センター事務局) 【第3部】議会の男女平等に向けて 高木美智代さん(衆議院議員)、三浦まりさん(上智大学法学部教授)
定員	208名
参加費	無料
協働先について	パリテキャンペーン実行委員会
実績	-
直接事業経費	-
財源	-
参考にしたプログラム等	-
課題	-

センター名	神奈川県立かながわ男女共同参画センター
事業名	女性のための社会参画セミナー「かなテラス カレッジ（江の島塾）」
対象者	地域活動・社会活動に参画する意欲をもつ女性
実施時期	平成9年度から継続して実施（平成26年度までは、かながわ女性センターにおいて社会参画セミナー「江の島塾」として実施。＊平成27年4月1日、かながわ女性センターが移転し、かながわ男女共同参画センターに名称を変更。以降、「かなテラス カレッジ（江の島塾）」として実施。）
事業内容	（平成29年度の事業内容） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日程 平成29年6月10日（土）～9月9日（土）の土曜日（全10日間）</li> <li>・ テーマ「女性の参画が社会を変える－社会を変える政策の企画・立案・発信手法を学ぶ－」</li> <li>・ プログラム（内容）についてはチラシ参照（別紙添付）</li> </ul>
定員	30人
参加費	全日程参加 3,000円、各日参加（1日2コマ） 500円
協働先について	平塚市（人権・男女共同参画課）：市内への広報 藤沢市（人権男女共同平和課）：市内への広報 茅ヶ崎市（男女共同参画課）：市内への広報 寒川町（協働文化推進課）：町内への広報
実績	平成9年度～平成28年度まで（20回）の受講者累計は延べ659人。過去受講者を対象とした調査結果（平成13年度～平成28年度まで11回実施）によると、委員・議員等に就任経験があると回答した受講者は、市町議会議員17人、国、県、市町村の審議会・協議会委員等80人（うち、議員と委員両方の経験者6人）、合計91人となっている（過去調査からの累計）。
直接事業経費	647,600円
財源	行政事業費直接執行
参考にしたプログラム等	-
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セミナーの開催時期や期間（現状、4～5ヵ月にわたる長期のセミナー）</li> <li>・ 受講者から興味・関心が得られるプログラムの組み立てと講師の選定</li> <li>・ 受講生同士のネットワークづくりをどのように支援するか。</li> </ul>

## No. 11

センター名	男女共同参画センター横浜
事業名	図書テーマ展示：「女性参政権 71 周年 夢をかなえた女性達の本」
対象者	すべての来館者
実施時期	2017 年 5 月
事業内容	当センター内情報ライブラリで実施。所蔵する本を、テーマ(女性の参政権)にそって選び、ライブラリ入口付近の目立つところに展示した。「女性と政治」への興味喚起と貸出促進に資する事業として実施。
定員	-
参加費	-
協働先について	-
実績	-
直接事業経費	-なし(情報事業費の内数)
財源	指定管理料(資料の収集、展示)
参考にしたプログラム等	-
課題	-

## No. 12

センター名	新潟市男女共同参画推進センター
事業名	ジェンダーで社会を考える講座
対象者	興味のある方 30 名
実施時期	平成 29 年 2 月 19 日(日)
事業内容	幸せの追求 ～親と子、そして戦争～ 「民主主義の終焉とヒトラー～第二次世界大戦下のドイツ人女性の戦時活動を例にして～」 講師：敬和学園大学教授 桑原ヒサ子
定員	30 人
参加費	無料
協働先について	なし
実績	29 名参加 ジェンダーで社会を考える講座第 2 部で、ドイツ人女性たちの戦争責任について学び、女性の政治への参加の必要性について考えた。
直接事業経費	93 千円
財源	全て新潟市の予算
参考にしたプログラム等	なし
課題	女性のエンパワーメントの推進のための意識啓発にはなったが、自己能力開発のための講座とする工夫が必要である。

## No. 13

センター名	上越市男女共同参画推進センター
事業名	市議会・地域協議会傍聴体験講座（平成 28 年度）
対象者	市民
実施時期	平成 28 年 9 月、平成 29 年 3 月
事業内容	平成 28 年 9 月 ・市議会 9 月定例会一般質問、地域協議会の傍聴（事前学習と振り返りを含む） 平成 29 年 3 月 ・市議会 3 月定例会一般質問の傍聴（事前学習と振り返りを含む）
定員	各回 30 人
参加費	無料
協働先について	市民活動団体
実績	35 人参加（2 回の講座合計）
直接事業経費	62,700 円
財源	市予算
参考にしたプログラム等	なし
課題	・講座への若者の参加が少ない

## No. 14

センター名	富山県民共生センター「サンフォルテ」	
事業名	「とやまの男女共同参画データブック」	広報紙「サンフォルテだより」での女性議員や統計データ
対象者	一般	一般
実施時期	毎年 5 月発行	1999 年 6 月号
事業内容	女性議員の国際比較や地方の状況をデータにて紹介	3 2 年ぶりの女性県議会議員誕生特集および地方選挙データの紹介
定員	—	—
参加費	—	—
協働先について	なし	なし
実績	毎年 1, 5 0 0 部発行	当時 10, 000 部発行
直接事業経費	1, 133(千円)(データブック全体経費)	記録なし
財源	指定管理料	-
参考にしたプログラム等	NWECをはじめとした他県発行の統計データブック	-
課題	膨大なデータを分かりやすく統	女性だけを取り上げることに對



	計的に正しく見せること	しての反発
--	-------------	-------

No. 15

センター名	岐阜市女性センター
事業名	ハートフルフェスタ 2017 ハートフルネットぎふ・岐阜市女性センター合同企画「なぜ女性の議員が必要な？～女性参政権行使 70 年 今、そしてこれから～」
対象者	ハートフルネットぎふ会員及び一般市民
実施時期	平成 29 年 1 月 29 日（日）
事業内容	女性参政権行使された 70 年前の時代背景を学ぶとともに市川房枝氏の語り「婦選の話」と歴史ジャーナリスト岩尾光代氏が監修した「最初の女性代議士たち」の DVD を鑑賞し、これからの女性の政治参加についてグループに分かれ自由に話し合い発表し、意見交換をした。
定員	80 人
参加費	無料
協働先について	ハートフルネットぎふ(岐阜市内の女性団体組織のネットワーク)
実績	60 人
直接事業経費	24,162 円
財源	指定管理料（岐阜市女性センター事業費）
参考にしたプログラム等	-
課題	過去の勇気ある歴代の女性議員たちの活動のおかげで今があること、今後も女性目線での政治活動で世の中をより良くすることが重要であることを確認した。このような話し合いの機会がなく、継続してほしいとの意見もあった。

センター名	静岡県男女共同参画センター
事業名	女性と政治参画事業(映画上映会とレクチャー) 『百年後の私たちが 受け取った花束を その先に…』 ～権利を求めて たたかった女性たちの 志を 私たちが繋げるために 今 未来に向けて できること～
対象者	一般
実施時期	平成 29 年 7 月 22 日 (土) 13:00～16:00
事業内容	日本における女性参政権運動から、現在の女性の政治参画に向けた取組、課題などまで、幅広く「女性と政治参画」についてのレクチャーを通し、現代に生きる私たちが直面している問題にどう向き合い、行動に移していくべきかを考える。レクチャーを踏まえ、1910年代のイギリス女性参政権運動についての映画を鑑賞。多くの反発を受けながらも、参政権のために闘ってきた様々な女性たちの礎の上に、今の私たちの権利があることを理解する。 【レクチャー】(60分) 講師：久保 公子さん(市川房江記念館 女性と政治センター 事務局長) 【映画上映会】(106分) 『未来を花束にして』(Suffragette/イギリス/2015年)
定員	150人(参加者117人)
参加費	なし
協働先について	みしま女性史サークル、三島市 政策企画課、
実績	今年度以外の実績として以下を実施した。 平成 25、26、27 年度：女性市長対談 平成 26、27、28 年度：議員ディスカッション
直接事業経費	126千円
財源	団体自主財源
参考にしたプログラム等	特になし
課題	「女性参政権運動」を知るという視点から、現在に生きる私たちの歴史的背景を知るきっかけになったが、女性議員を増やす方策や課題解決のための方策について、具体的にディスカッションできる場を設ける必要があった。また、参加者のほとんどが、年配の女性であったので、若い世代向けに、さらに情報提供し、集客していく工夫が必要であった。

センター名	浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター
事業名	浜松市議会議員とあいゆうねっとの意見交換会
対象者	浜松市市議会議員、あいゆうねっと（市内男女共同参画関連活動団体ネットワーク）
実施時期	平成 28 年 12 月 15 日（木）13 時～15 時 30 分
事業内容	「男女共同参画の視点で魅力的な浜松市を考える」をテーマに浜松市議会議員とあいゆうねっとの意見交換会を行った。3 年目となった平成 28 年度は 7 会派 17 人の市議会議員と 20 団体 38 人のあいゆうねっとメンバーが参加し、各団体が抱える地域課題や男女共同参画の視点を議会へ届ける機会となった。
定員	なし
参加費	無料
協働先について	なし
実績	平成 28 年度全国女性会館協議会 事業企画奨励賞を受賞
直接事業経費	会場使用料、人件費、雑費など 合計 25,400 円
財源	委託事業費
参考にしたプログラム等	なし
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員の参加を募るための日程調整</li> <li>・議論を深めるためのテーマ選びや話し合いの手法</li> </ul>

センター名	三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」
事業名	社会に声を届けよう！女性のための政治入門塾
対象者	政治に関心はあるが「よくわからない」と感じている初心者中心
実施時期	平成 27 年 5 月 23 日（土）、平成 28 年 8 月 27 日（土）
事業内容	<p>「自分の問題は社会の問題」。初年度は、個人の問題が解決することで社会全体が生きやすくなるかもしれないことに、政治参画に消極的な女性たちにこそ知ってほしいと実施した。翌年度は、自分たちの声をどこにどのように届けるのかを、実際に活躍する女性議員を交えて具体的に考える参加型講座として実施。</p> <p>共通したテーマとして、女性自身が女性の声を意思決定の場に届ける意義を理解し、女性が政治に関心をもつことを参加者に感じてもらうこととした。</p>
定員	10 名
参加費	無料
協働先について	特にないが、県内の女性議員および経験者にゲストとして出席いただいた。
実績	<p>【27 年度】</p> <p>参加者：11 名 満足度：100%</p> <p>30 代・40 代の参加者もあり、満足度も高く、事業の目的でもあった『「社会を変えたい」は実現できる』というイメージを描いてもらうことができた。また参加者の中から 2 名議員が誕生し、意思決定の場へ参画する女性をエンパワーメントすることができた。</p> <p>【28 年度】</p> <p>参加者：15 名 満足度：92.3%</p> <p>参加者としてインターンシップ生にも参加してもらい、若年世代へメッセージを伝えることができた。現職女性議員と参加者との間で意見交換もでき、双方にとってよい講座となった。</p>
直接事業経費	交通費、昼食代などで約 10,000 円
財源	指定管理料が基本
参考にしたプログラム等	特になし
課題	参加者の確保に苦勞することがあり、女性の政治参画の難しさを感じる。また政治の中だけではなく、あらゆる意思決定の場に進む女性の育成を考えていかなければならない。今後は政治だけをテーマにするというよりも、意思決定の場に立つことを楽しいと思ってもらえるような講座を開発していきたい。

センター名	滋賀県立男女共同参画センター
事業名	さんかく塾、女性リーダー選挙セミナー
対象者	指定なし
実施時期	平成 29 年 9 月 2 日
事業内容	講座テーマ「女性のエンパワメント 各国の取組・日本の取組」 講師：大西 祥世 氏（立命館大学法学部教授） ○講義 ・「男女同権」実現のための立憲政策について ・「クォータ制」などの具体的手法について ○グループディスカッション ・「取締役クォータ」のメリット・デメリット ○質疑
定員	40 人
参加費	無料
協働先について	滋賀県選挙管理委員会
実績	参加者 26 人
直接事業経費	当センターは会場およびチラシ作成にかかる経費のみ
財源	県予算
参考にしたプログラム等	-
課題	一般県民の参加が少ない。

センター名	とよなか男女共同参画推進センター
事業名	すてっぷゼミナール2016 女性が学び、発言するためのエンパワーメント講座～知ることを、生きる力に
対象者	市民
実施時期	2016年7月～2017年2月 計5回
事業内容	2016年度は第2次豊中市男女共同参画計画見直しの年にあっていた。そこで、最終的には市民の声をパブリックコメントとして発信することを目的に連続セミナーを開催した 第1回 7/30(土) STEP1 もっと働きやすく！私の声で変えていく 講師 皆川満須美(早稲田大学非常勤講師) 第2回 9/11(日) STEP2 働く自分を守る！私を支える社会保険 講師 杉原純子(NPO 法人あったかサポート) 第3回 10/30(日) STEP3 もう我慢しない！働きやすい職場づくり 講師 丹羽麻子(一般財団法人 女性労働協会) 第4回 11/13(日) STEP4 わたしも言いたい！女性のための政策づくり 講師 朴木加穂留(神戸大学名誉教授) 第5回 2/5(日) 番外編 パブコメにチャレンジ！ 講師 朴木加穂留(神戸大学名誉教授)
定員	30人
参加費	無料
協働先について	すてっぷ登録団体へ積極的に参加をよびかけた
実績	参加者数延べ103人 (パブコメを送る市民がかつてなく多数だったと豊中市から聞いている)
直接事業経費	講師料
財源	指定管理料
参考にしたプログラム等	-
課題	継続して豊中市の男女共同参画施策に関心を持ち計画の実行状況を把握し、市政に対して発言するグループづくり、仕組みづくり

\*このほかにも、豊中市選挙管理委員会からの要請で「18歳からの主権者教育事業」の一環で梅花高校3年生(370人)に出前講座を行っている。

センター名	尼崎市立女性・勤労婦人センター
事業名	指定管理者自主事業 めぞそう！女性が活躍するまち あまがさき
対象者	テーマに関心のある方
実施時期	2016年10月23日（日）13：30～15：00
事業内容	講師 白井 文 前尼崎市長、大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、グンゼ株式会社取締役 対象 テーマに関心のある方 一時保育 先着10人 無料（1歳以上未就学児） ・女性活躍推進法が施行されたが、女性が活躍できる社会とは？女性が生き生き活躍できるまち「あまがさき」を実現するために何が 必要か、体験談も踏まえて参画することの重要性を学ぶセミナー
定員	50人（当日参加者数61人）
参加費	無料
協働先について	尼崎市女性・勤労婦人センター
実績	多くの課題を乗り越え女性が活躍していくための基本姿勢や、与えられたチャンスは断らない！推薦されること背景には、評価されていること、できると期待されていることを知って、自信を持っているいろいろな役を引き受けてほしいという力強いメッセージが伝わった。参加者アンケートにも一歩前に進む勇気を頂け、参画する必要性をひしひし感じたなどの感想が寄せられていた。
直接事業経費	視聴覚室、マイク利用料金、チラシ印刷費、チラシ発送等郵送費、講師謝金、講師飲料費（水）
財源	NPO 法人男女共同参画ネット尼崎
参考にしたプログラム等	-
課題	「政治分野への男女共同参画の推進」とした直球のテーマがみえると、私には関係ない、難しいなどまだまだ集客できない。 男女共同参画事業すべてにおいていえることだが、事業名や講師、ロールモデルなど、ぜひ参加したくなる、聞いてみたくなる工夫が難しい

## No. 22

センター名	広島県女性総合センター
事業名	エソールひろしま大学 応用講座
対象者	県民
実施時期	毎年10月～月2回×5ヶ月
事業内容	○男女共同参画の視点で活動できる人材の育成 ○政策・方針決定の場に参画できる女性の人材育成
定員	20名
参加費	10,000円
協働先について	-
実績	-
直接事業経費	-
財源	広島県による補助金
参考にしたプログラム等	-
課題	定員確保

## No. 23

センター名	山口市男女共同参画センター
事業名	山口市議会議員との懇談会「山口市の男女共同参画について」
対象者	山口市男女共同参画ネットワーク会員
実施時期	平成27年11月22日
事業内容	山口市の男女共同参画の達成状況や、施策、議員の意識等について質疑応答形式で懇談会を行なった。
定員	30名
参加費	無料
協働先について	なし（センター業務受託団体である山口市男女共同参画ネットワーク独自の事業として単独で実施）
実績	-
直接事業経費	なし
財源	会員の年会費より支出
参考にしたプログラム等	特になし
課題	会員の方では予め勉強会を行ない、事前に質問内容を議員に通知して当日に臨んだが、議員側に参画の意識や知識が十分でなく、内容が深められなかった。



センター名	佐賀県立男女共同参画センター
事業名	地域リーダー養成セミナー
対象者	県民
実施時期	平成 28 年度～
事業内容	政策方針決定過程への女性の参画を促進し、女性の視点を政策に活かすとともに、市町の審議会等における女性委員の割合増を図るため地域の女性リーダーとして活躍できる人材の育成に資するセミナーを開催する。研修後は参加者に女性人材リストへの掲載を促す。
定員	セミナー 20 名、公開講座 300 名
参加費	無料
協働先について	なし
実績	平成 28 年度延べ参加者 / 224 名
直接事業経費	平成 28 年度 / 611 千円
財源	委託料
参考にしたプログラム等	なし
課題	平成 28 年度は入門編として実施し、「女性の政治参画」を直接のテーマには盛り込まなかったが、政策方針決定過程への女性の参画を進めるために、今後は若年層を対象としながらも、より政策参画理解を深める内容に変えていく必要がある。

センター名	熊本県男女共同参画センター
事業名	男女共同参画 i n パレア ワークショップ
対象者	一般
実施時期	① H28. 10 月 ②③H29. 2 月
事業内容	① 震災後の現場からの切実な訴えを、復興やさらなる防災にどう結び付ければよいか女性弁護士や女性議員と話し合う意見交換会。 ② 女性議員と語る意見交換会 ③ 政治学学習会（憲法を学ぶ）
定員	設定なし
参加費	なし
協働先について	① くまもと・バックアップ女性の会 ② くまもと・バックアップ女性の会 男女共生社会を実現するくまもとネットワーク ③ 「女性と政治学習会」実行委員会
実績	① 23 名参加 ②41 名参加 ③45 名参加
直接事業経費	各回講師謝金@5,000 円/h、チラシ・資料印刷代及び紙代
財源	県費
参考にしたプログラム等	-
課題	-

センター名	熊本市男女共同参画センターはあもにい
事業名	はあもにいウィメンズカレッジ
対象者	18才～65才までの女性
実施時期	H25年度から毎年6月～2月で開催（H28年度は熊本地震の影響で中止）
事業内容	政策や方針決定の場で自らの考えを発信できる女性人材の育成及び発掘を目的に開催。 ・男女共同参画の理解を深める。 ・情報発信力、マナーやプレゼンテーション等のスキル習得。
定員	20名
参加費	5,000円
協働先について	なし
実績	受講生より県議会議員1名誕生。市議会議員の受講実績あり。
直接事業経費	
財源	指定管理委託費
参考にしたプログラム等	なし
課題	受講後の受講生のフォローアップや活動支援。